

正副議長定例記者会見の質疑（令和4年6月定例会）

日時：令和4年6月21日（火）13：30～13：42

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

記者会見を行う渡部議長



記者会見を行う古川副議長



（南海放送：幹事社）

定刻となりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。

なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は13時50分までとさせていただきます。まず初めに、議長からご挨拶をお願いします。

（議長）

本日、6月定例会を無事終えることができ、その定例記者会見でございますので、どうかよろしくお願いいたします。

さて、今回、議長就任後の初めての定例会でしたが、今議会では6月補正予算において、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けた取組みの強化。そして、現状、喫緊の課題である原油価格や物価高騰等による影響を強く受けている生産者や事業者への支援や、経済的に困窮する家庭の教育機会の確保。そして、国の内示を受けた防災減災対策の一層の強化や、DXの推進といった重要な課題に対し、適切に対処できたものと考えております。

特に、先般、知事と一緒に関係省庁を回って要望を行ったのですが、具体的に申し上げますと、経済産業省の細田副大臣に対し、社会経済活動の更なる振興やDXの推進に関する要望を行うとともに、丸山文部科学審議官には、経済的に困窮する家庭の教育機会の確保等の要望を、さらには、内閣府の山口原子力防災大臣に、原発に係る防災減災に関する提言等を行いました。そうした国への要望事項や喫緊の課題解決に向けた事柄についても、今回の議会で、議論が交わされるなど、実り多い議会になったと考えております。

また、被災地復興のシンボルとなる「きずな博」の開催状況や、その他重要課題につ

いても、質疑がなされ、議論が深まったものと評価している次第であります。

(南海放送：幹事社)

副議長いかがでしょうか。

(副議長)

はい。私としては、副議長の立場として、議長をお支えするとともに、コロナウイルスの感染対策と社会経済活動の両立に向けた取組みの強化や、原油価格高騰に対する緊急対策など、成果を上げることができたのではないかと思います。

(南海放送：幹事社)

ありがとうございました。続いて弊社からの代表質問です。

本県でも、犯罪被害者支援を目指す条例制定に向けた検討が始まっておりますが、議会として、条例制定に向けた取組みや、どのような議論の深まりを期待されるのでしょうか。

(議長)

本日の環境保健福祉委員長からの報告にもございましたが、この条例については、今回、関係委員会において活発な質疑がなされたものと考えております。

また、私自身、今まで、犯罪被害者の御家族の方や、被害者の支援活動に取り組んでおられる弁護士の方、また有識者からお話を伺う機会が何度もあり、犯罪被害者やその家族に対する支援についての重要性を強く認識しており、今年の2月定例会においては、犯罪被害者に対する支援の充実に向けた取組みについての質問をいたしました。質問の時点では、議員発議による条例制定も視野に入れていたのですが、理事者側から、条例の制定に向けて検討しているところであると、たいへん心強い回答をいただいたこともあり、理事者側の動向を見守ることとしました。

そして、今年5月31日には、条例制定に向けた検討会が初めて開催され、大きな一歩を踏み出したのですが、この検討会には、有識者や犯罪被害者の家族等が委員になられており、犯罪被害と向き合う方たちの意見が、検討会での取組みに反映されるものと期待しているところです。

また、県での条例制定をきっかけに、地域住民と密接な関係にある各市町においても同様に条例がつくられ、犯罪被害者の支援の輪が充実し、犯罪被害者を社会全体で守ることができるような、そのような流れが生み出されることを切に願っております。犯罪被害者には、SNS等でいわれのない誹謗中傷を受けたり、失職や転居等を余儀なくされる等、精神的な苦痛だけでなく、経済的な負担を強いられるケースもあると聞いております。検討会においては、こうした被害者をとりまく厳しい現状に目を向けながら、きめ細やかな支援が図られる社会を目指して議論を深めていただきたいと思います。

(南海放送：幹事社)

この件につきまして、副議長いかがでしょうか。

(副議長)

はい。今、議長も言われたように、本年度中の条例制定を目指して、議会としてもしっかりと取り組んでいきたいと思ひますし、また、制定することによって支援の対象となる方々が少しでも楽になれるよう、県全体で取り組んでいければと思ひます。

(南海放送：幹事社)

続いて、質問がある社はお願いします。

(愛媛新聞)

今回の議会では、県行政の物価高への対応に関する質問がありましたが、議会として、物価高に向けた対策について、手ごたえは感じておりますか。

(議長)

ガソリンをはじめとした燃料や農業肥料、畜産飼料等が高騰している中、県行政において十分に考え、緊急的な対応策などが補正予算に計上され、可決に至りました。我々議会としても、一応の対策はできたものと考えています。ただ、今後、価格が高止まりすることも起こりうることから、物価高騰への対応については、引き続き議論をしておかねばなりません。国においても経済対策を講じてはいるが、状況いかんによっては県単独での対策を講じる必要も出てくるかもしれません。議会としても、その時々状況を踏まえながら、しっかりと行政に訴えていきたいと思っております。

(南海放送：幹事社)

他にありますでしょうか。

それでは以上で正副議長の記者会見を終わります。

ありがとうございました。